

町が設立団体である地方独立行政法人くらて病院は、建物が老朽化し、また耐震化もできていませんでした。平成29年2月に「地方独立行政法人くらて病院整備基本構想」を策定し、移転建替えを進め、令和2年4月から建設工事に着手し、10月1日に鞍手町大字小牧2226番地2に新築・移転の運びとなりました。新しくらて病院の概要を紹介します。

全世代の健康を支援し、進化する地域医療に挑む くらて病院 更なるステージへ始動。

「あたたかく・やさしい」開かれた医療を。

『全世代の健康を支援し、進化する地域医療に挑む』

を病院の理念に掲げ、基本的な運営方針及び基本方針に基づき信頼と質の高い医療を提供していきます。

また、切れ目のない医療・介護サービスの地域医療の拠点として役割を担っていきます。

●基本的な運営方針

- ① 患者の意思に柔軟に対応し、専門医による診療を提供する
- ② 地域包括ケアシステムに参画し、地域医療連携を推進する
- ③ 新病院を医療の拠点、老健施設を介護の拠点とし、医療・介護の中心的な役割を担う

●基本方針

- ① 患者の生命を尊重し、プライバシーを守ります
- ② 患者と診療情報を共有し、診療計画の選択にあたりその意思を尊重します
- ③ 院内各診療科、職種間の連携を密にし、質の高いチーム医療を行います

●施設概要

- 敷地面積 21,711.72㎡
- 建築面積 5,469.60㎡
- 建築延床面積 16,718.27㎡
- 病院建物 地上5階
- 許可病床 222床



歴史あるくらて病院が新築移転し、生まれ変わります。新しくらて病院では、「全世代の健康を支援し、進化する地域医療に挑む」ことを新たな理念としました。そして、医療の進歩や時代の変化に柔軟に対応できる体制を整えていきたいと考えています。

新しい施設では、患者の皆さんや住民の皆さんへのサービスを一層充実させました。患者の皆さんの院内の移動のご負担も少なくなりました。外来では、今年度より小児科を開設しましたが、新病院では診療室も親しみやすいデザインになります。入院では個室も増え、陰圧個室での感染症への対応も可能となります。バリアフリーや耐震化はもとより、広いエントランスや講堂は、災害時に拠点病院として機能することができるよう設計されています。手狭でご迷惑をおかけしていた駐車場も広くなります。今後は職場環境も整えて、優れた医師・医療スタッフの拡充にさらに努めます。

くらて病院は、前身の鞍手町立病院時代を含めると半世紀以上もの間、皆さんに親しまれてきました。施設の老朽化により、建替えは地域の念願でしたが、困難を乗り越えて新築移転をご報告できる喜びはひと

理事長あいさつ



地方独立行政法人くらて病院

理事長 河野 公俊

フロア案内

5F 病棟 A501 から A513 (地域包括ケア病棟)

4F 病棟 A401 から A423 (一般病棟) / 病棟 B401 から B415 (地域包括ケア病棟)

3F 病棟 A301 から A323 (一般病棟) / 病棟 B301 から B313 (回復期リハビリテーション病棟)

2F 透析室 / リハビリテーション室 / 手術室

1F 総合受付 / 会計 / 地域医療連携室 / 外来診療室 / 救急 / 内視鏡 / 放射線科 / 外来化学療法室 / 薬剤科 / 検査科 / 採血室 / 講堂 / 売店

診療科目

内科 / 循環器内科 / 呼吸器内科 / 消化器内科 / 脳神経内科 / 糖尿病内科 / 腎臓内科 / 透析科 / 外科 / 乳腺外科 / 整形外科 / 皮膚科 / 形成外科 / 脳神経外科 / 泌尿器科 / 小児科 / リハビリテーション科 / 血液内科 / リウマチ科 / 眼科 / 耳鼻咽喉科 / 放射線科 / 肛門外科



▲屋上庭園 (院内から四季を感じられる眺望や散策できるエリア)



▲外来受付・待合

しおです。鞍手町の皆さん、また岡崎町長、鞍手町議会及び職員の方々の多大なるご支援に、あらためて心より御礼申し上げます。建設工事にあたっては、作業音や工事車両の通行など近隣の皆さんにご迷惑をおかけしました。ご理解とご協力に感謝いたします。また、病院職員の長年の努力にも敬意を表したいと思います。

ご存じのとおり、くらすて病院は平成29年度末に当時の内科常勤医師が一斉退職し、患者の皆さんに転院頂くなど、大変なご迷惑とご不安をおかけしました。同年に理事長に就任して以来、田中宏明病院長をはじめとする職員とともに、医師の増員を進め、医療体制と経営状態の立て直しと、新築移転の推進に努めてきました。診療体制が整ってきた矢先、新型コロナウイルス感染症が世界を席巻しました。新型コロナウイルス感染症に対しても、公的病院としての使命を果たすべく、病院一丸となって対応しています。発熱外来を設置し、院内で即日PCR検査を行って安全に診療できる体制を整え、さらに無症状の人にも検査を提供し、新型コロナウイルス感染症の患者の皆さんの受け入れも開始するなど、安心・安全な診療の継続と地域社会への貢献に努めております。

今後も、医療技術の進歩や、この地域でも急速に進むと予想される高齢化など、医療を取りまく環境はますます急速に変化していきます。また、国は地域医療構想を策定して公立・公的病院の再編統合を促す方針を示しており、地域医療をめぐる環境が一層厳しくなることも懸念しております。

そのような中でも、新生くらすて病院が、将来にわたって地域医療の中核を担う公的病院としての使命を果たし続けることを願っております。鞍手町の皆さんの健康を支え、ご期待と信頼に応えられるよう、一層努力して参ります。これからも、くらすて病院をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

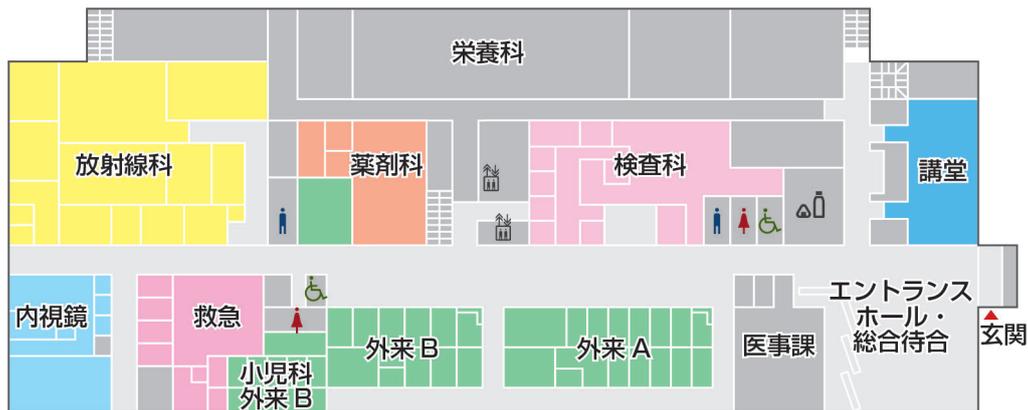
全世代型の診療体制

新たな診療体制として、これまでの内科、外科、整形外科、泌尿器科及び皮膚形成外科に加え、小児科を開設しました。小児から高齢者まで全世代の診療に力を注ぎます。また、ほかの医療機関からの紹介にいつでも対応できるシステムを構築し、地域医療の拠点病院として診療機能に応じた断らない二次救急医療を充実させていきます。



1F

▲エントランス



▲講堂



▲小児科



▲総合受付

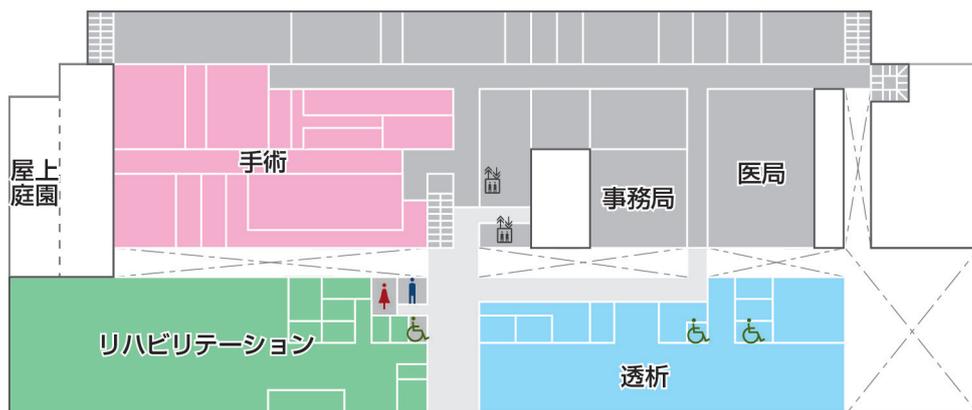
快適空間で リハビリに注力

新病院では地域包括ケア病床の増床を行い、回復期リハビリテーション病棟と共に在宅復帰を目指しリハビリテーションに力を注ぎます。入院中は快適な空間で機能訓練が行えるように、みどり豊かな庭園を完備しています。また、エントランスや講堂は広い空間を設け、災害時にも医療機関として機能できるように整備しています。



2F

▲リハビリテーション室



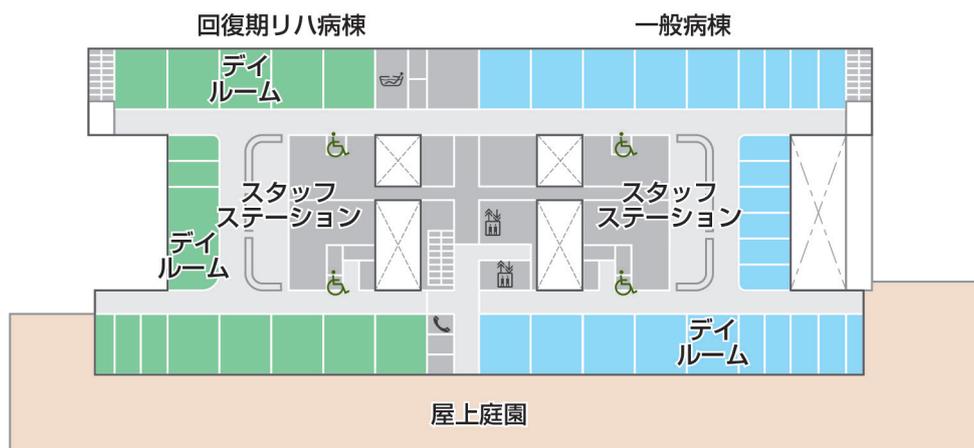
3F・4F・5F

▶
デイ
ルーム



快適な療養環境を完備

みどり豊かな環境の中で、やすらぎを感じながら療養できる環境を整えています。プライバシーに配慮した多床室やデイルームなど、ご家族やご友人と過ごす快適な療養環境を提供するとともに、個室率を高め各階に陰圧個室を整備するなど、さまざまな感染症対策にも配慮しました。交流の利便性も図り、広い駐車場も完備しています。



▲多床室



▲個室

外来受付時間のご案内 ※月曜日～金曜日

- 8時30分～11時30分
- 13時15分から受付開始
- 受付終了時間

新患 16時30分まで
再診 16時30分まで
小児科 17時30分まで（水曜日のみ）

●休診

土曜・日曜・祝日
年末年始（12/29～1/3）



●問い合わせ
地方独立行政法人

くらて病院

〒807-1311 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧 2226 番地 2
TEL: (0949) 42局1231番
FAX: (0949) 42局4391番

